

<教育目標>



英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

新しい^ま都会^ちに (中野中だより)

平成 30 年 1 月 11 日発行

No.13 校長 矢口 仁

夢の実現のために — 「オナカの大きな王子さま」 — 校長 矢口 仁

母しのぶ 水仙の香の優しさに 川島 踊子

平成 30 (2018) 年が始まりました。今年は戌年、寒さに負けず外を走りまわる犬のように、元気のいい年にしたいと思います。本年も、本校の教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いします。



さて、先日早起きをしたら、NHKで「みんなの歌」をやっていました。懐かしくなってしばらく聞いていました。私が大学受験に失敗し、浪人生活を始めた年に聞いた「みんなの歌」の思い出がよみがえってきたからです。

進路が決まらずに高校を卒業し、4月から予備校に通い出しました。目の前に道が見えず、受験勉強に気持ちが集中できません。毎日、だらだらとした生活を送っていました。そんな時、「みんなの歌」で『オナカの大きな王子さま』(小椋 佳 作詞・作曲)という歌が流れてきました。

オナカの大きな王子さま 白いお洋服が破れそうだよ 金のボタンも とれそうだよ♪
魔法使いがもってきた 空飛ぶじゅうたんに乗りたくないな 空より高く 飛びたくない♪

とても太った王子さま。食いしん坊で、毎日ごちそうを食べ続けているからです。空飛ぶじゅうたんに乗って、空高く飛びたいという夢をもちながら、おいしい料理が目の前に出てくると我慢できません。ずっと食べているのです。

オナカの大きな王子さま いつまでたっても食べてるんだね
お料理全部 なくなりそうだよ♪ (後略)

「空飛ぶじゅうたん」に乗るためにやせる努力をせず、自分の食べたいものを食べて続けている王子さまでした。この歌詞を聞いて、目が覚めました。「自分は、王子さまと同じだ。やりたいことだけやって自律心がなく、だらだらと毎日を過ごしている。そのくせ、大学に入りたい、ホテルマンになりたい、教師もいいな……などと夢だけ描いている。」そんな自分が恥ずかしくなりました。夢を叶えるためには、何かを我慢すること、努力をすることが必要だと改めて気づかされたのです。この歌がきっかけで、受験勉強に対する意欲が高まり、浪人生活を一年で終えることができました。夢の実現のためにすべきことは、わかりきったことだったのです。

☆ 保護者アンケートのまとめ（全学年の集計結果 回収 357 名）

平成29年度 保護者アンケート

■十分 □まあ十分 □やや不十分 □不十分 □わからない

